

# 沖縄県の海難発生状況

～平成28年～

小型船舶・・・漁船、プレジャーボート及び遊漁船

運航阻害・・・バッテリーの過放電、燃料欠乏、無人の漂流等により正常な運航が出来なくなったもの。

安全阻害・・・転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航をいう。

掲載のデータ等は速報値であり、確定したものではない。



第十一管区海上保安本部

交通安全対策課

平成28年1月～3月

---

---

# 平成28年 沖縄の船舶事故発生状況速報(1~3月)

平成 28 年 4 月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

## 概要

### 船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- 船舶事故隻数 17隻 (詳細は右表のとおり)
- 死者・行方不明者数 0名

### 傾向及び特徴

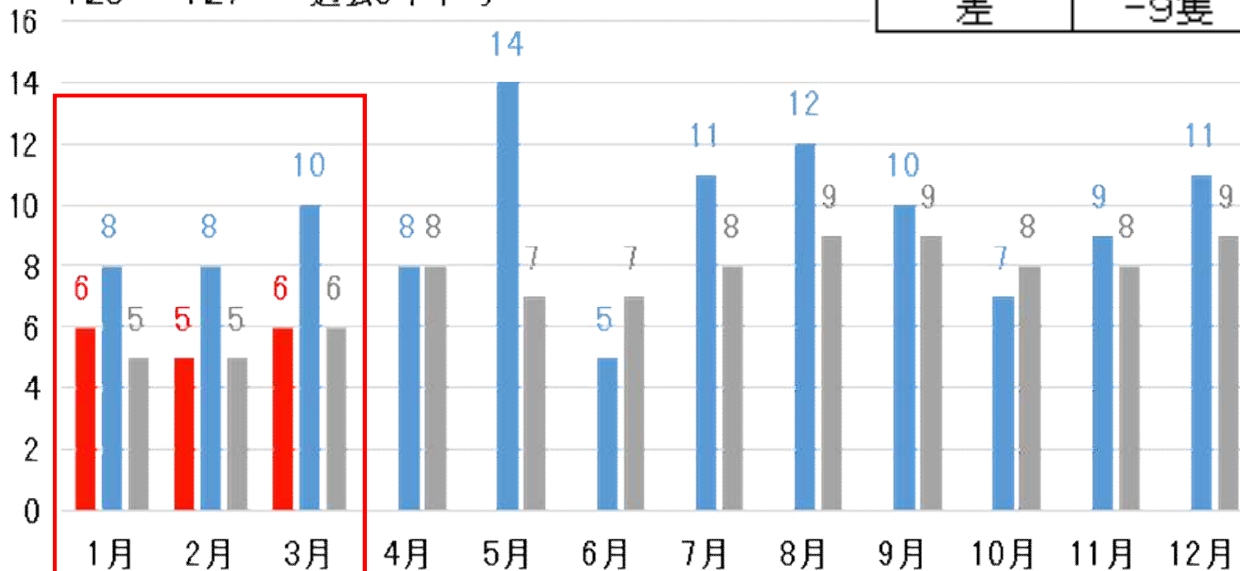
- 1月~3月の船舶事故は17隻発生し、前年同時期比で9隻減、過去5年平均同時期比で1隻増となっており、前年比では減少傾向で推移している。
- 用途別では漁船の事故が10隻で最も多く発生し、全体の約6割を占める。
- 事故種類別では乗揚と浸水の事故が多く、ともに4隻ずつ発生しており、次いで衝突、運航阻害となっている。

## 1月~3月船舶事故内訳

事故種類 用途	乗揚	浸水	衝突	運航阻害	推進器障害	機関故障	安全阻害	その他	総計
漁船	2	2	1	1	1	1	1	1	10
貨物船		1	2						3
プレジャーボート				1					1
旅客船	1								1
作業船		1							1
その他	1								1
総計	4	4	3	2	1	1	1	1	17

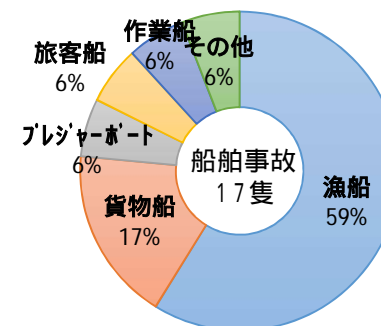
## 月別事故隻数推移

■ H28 ■ H27 ■ 過去5年平均

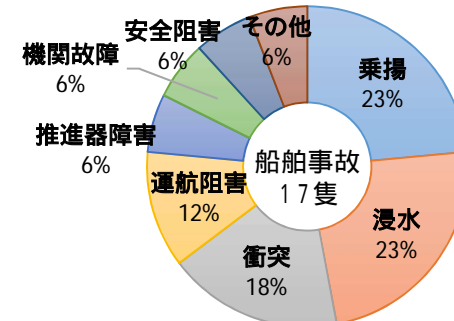


H28累計	17隻
H27累計	26隻
差	-9隻

1月~3月発生船舶事故 用途別



1月~3月発生船舶事故 事故種類別



# 平成28年 沖縄の小型船舶事故発生状況速報(1~3月)

平成28年4月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

## 概要

小型船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- ・小型船舶事故隻数 11隻(漁船10隻、プレジャーボート1隻)
- ・死者・行方不明者数 0名

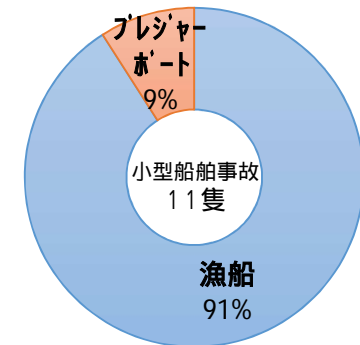
傾向及び特徴

- ・1月~3月の小型船舶事故は、11隻発生し、前年同時期比で5隻減、過去5年平均同時期比で1隻減となっており、減少傾向で推移している。
- ・特に漁船の発生割合が多く、小型船舶の約9割を占める。
- ・漁船の事故種類では、乗揚と浸水の発生が多い(ともに2隻ずつ)。
- ・プレジャーボートの事故は、運航障害が1隻発生したのみで、遊漁船の事故は発生しなかった。

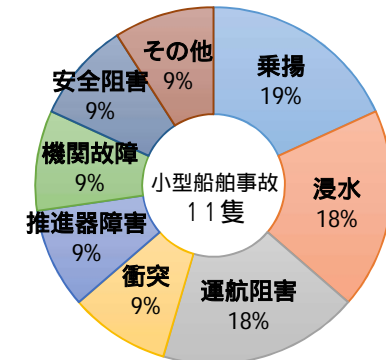
## 1月~3月小型船舶事故内訳

事故種類	乗揚	浸水	運航障害	衝突	推進器障害	機関故障	安全障害	その他	総計
用途									
漁船	2	2	1	1	1	1	1	1	10
プレジャーボート			1						1
遊漁船									0
総計	2	2	2	1	1	1	1	1	11

1月~3月発生小型船舶事故 用途別

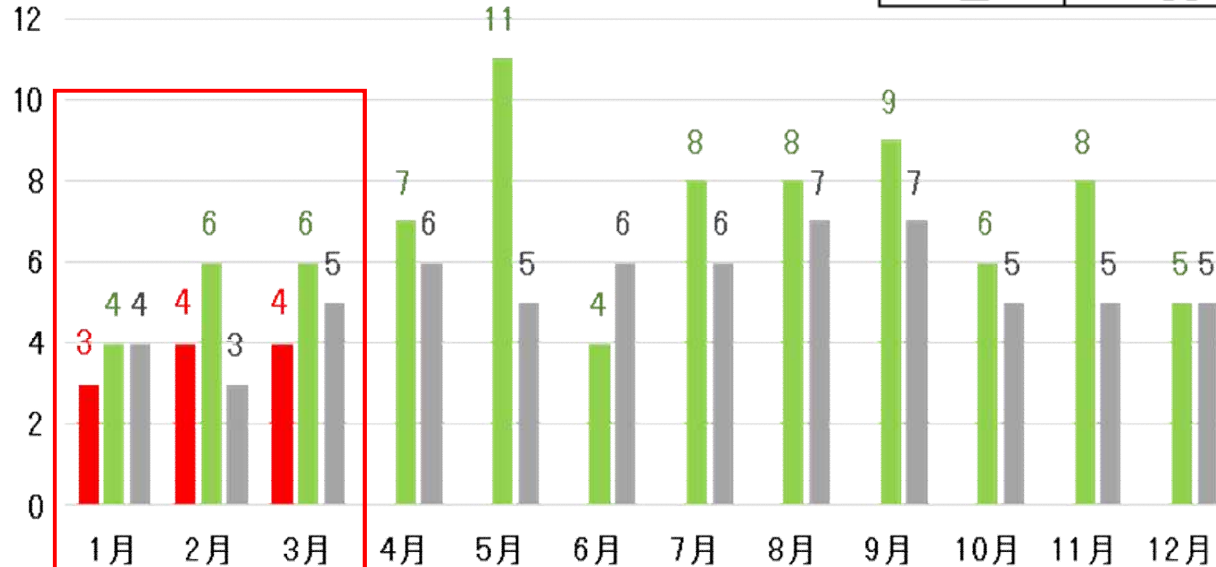


1月~3月発生小型船舶事故 事故種類別



## 月別小型船舶事故隻数

■ H28 ■ H27 ■ 過去5年平均



H28累計	11隻
H27累計	16隻
差	-5隻

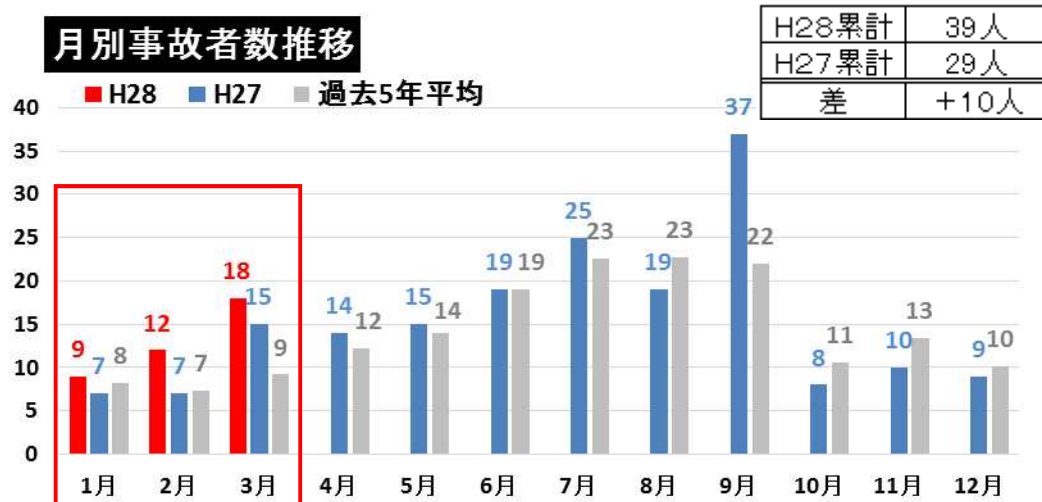
# 平成28年 沖縄の人身事故発生状況速報(1~3月)

平成28年4月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

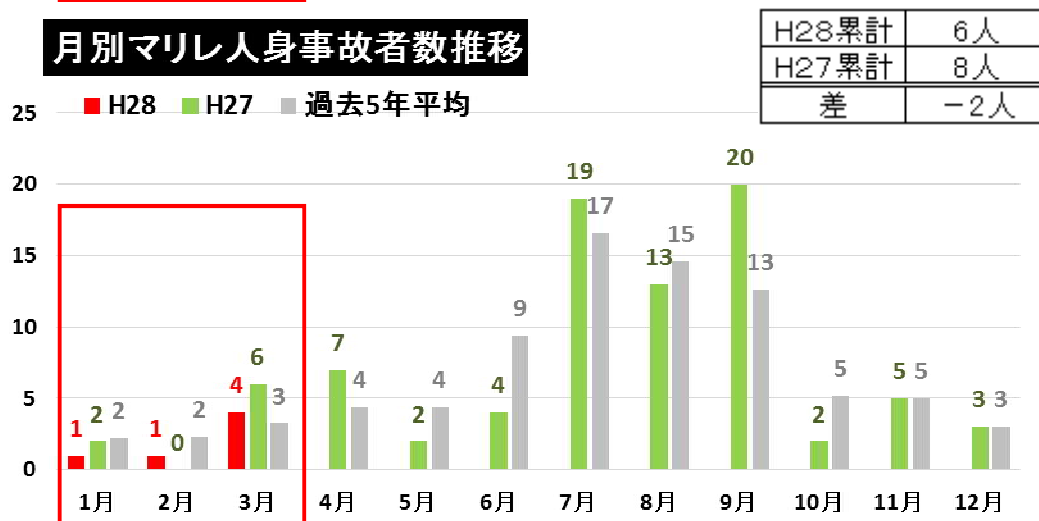
## 主なポイント

1月～3月の人身事故者数は39人で、前年同時期比で10人増加、過去5年平均同時期比で15人増加となった。事故内容別では、病気が13人で最も多く発生しており、全体の約3割を占めている。マリレジャーに伴う人身事故者数は6人で、前年同時期比で2人減少、過去5年平均同時期比でも1人減少となった。事故内容別では、溺水が5人で全体の約8割を占めている。

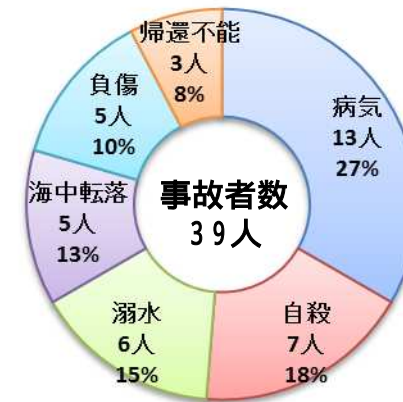
### 月別事故者数推移



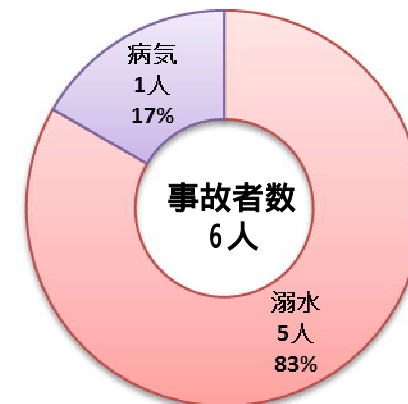
### 月別マリレ人身事故者数推移



### 1月～3月 人身事故全体



### 1月～3月 マリレジャーに伴う人身事故



平成28年4月～6月

---

---

概要

船舶事故隻数及び死者・行方不明者数  
 ・船舶事故隻数 31隻 (詳細は右表のとおり)  
 ・死者・行方不明者数 0名

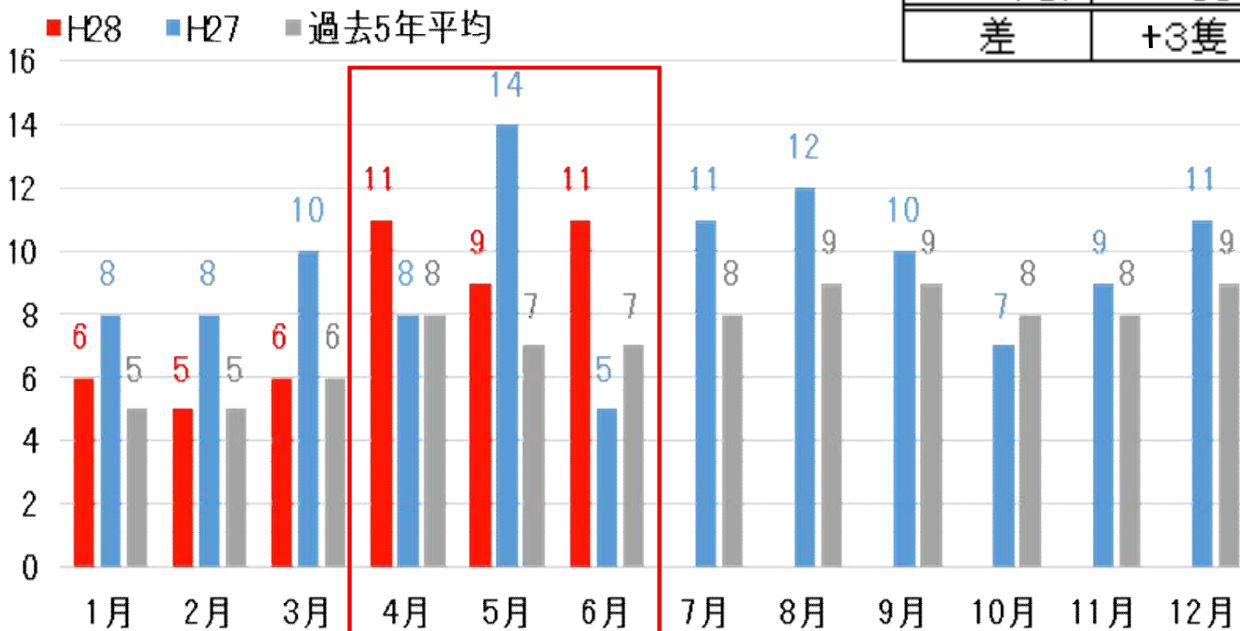
傾向及び特徴

・4月～6月の船舶事故は31隻発生し、前年同時期比で3隻増、過去5年平均同時期比で9隻増となっており、増加傾向で推移した。  
 ・用途別では漁船とプレジャーボートの事故がともに12隻で最も多く発生し、これらで全体の約8割を占める。  
 ・事故種類別では衝突、乗揚、運航阻害、機関故障の順で多く発生している。

4月～6月船舶事故内訳

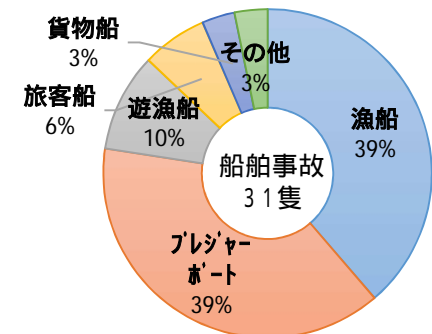
事故種類 用途	衝突	乗揚	運航阻害	機関故障	浸水	転覆	推進器障害	火災	その他	総計
漁船	6	3	1	1					1	12
プレジャーボート		1	4	3		1	1		2	12
遊漁船					2			1		3
旅客船		2								2
貨物船	1									1
その他	1									1
総計	8	6	5	4	2	1	1	1	3	31

月別事故隻数推移

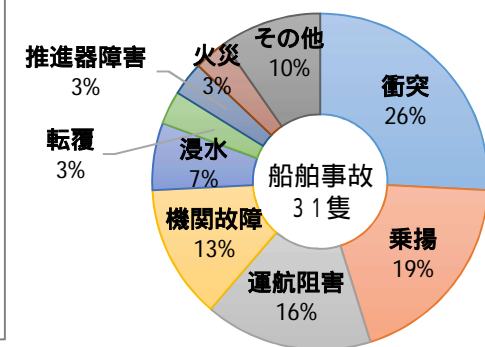


H28累計	31隻
H27累計	28隻
差	+3隻

4月～6月発生船舶事故 用途別



4月～6月発生船舶事故 事故種類別



# 平成28年 沖縄の小型船舶事故発生状況速報(4～6月)

平成 28 年 7 月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

## 概要

### 小型船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- ・小型船舶事故隻数 27隻(漁船12隻、プレジャーボート12隻、遊漁船3隻)
- ・死者・行方不明者数 0名

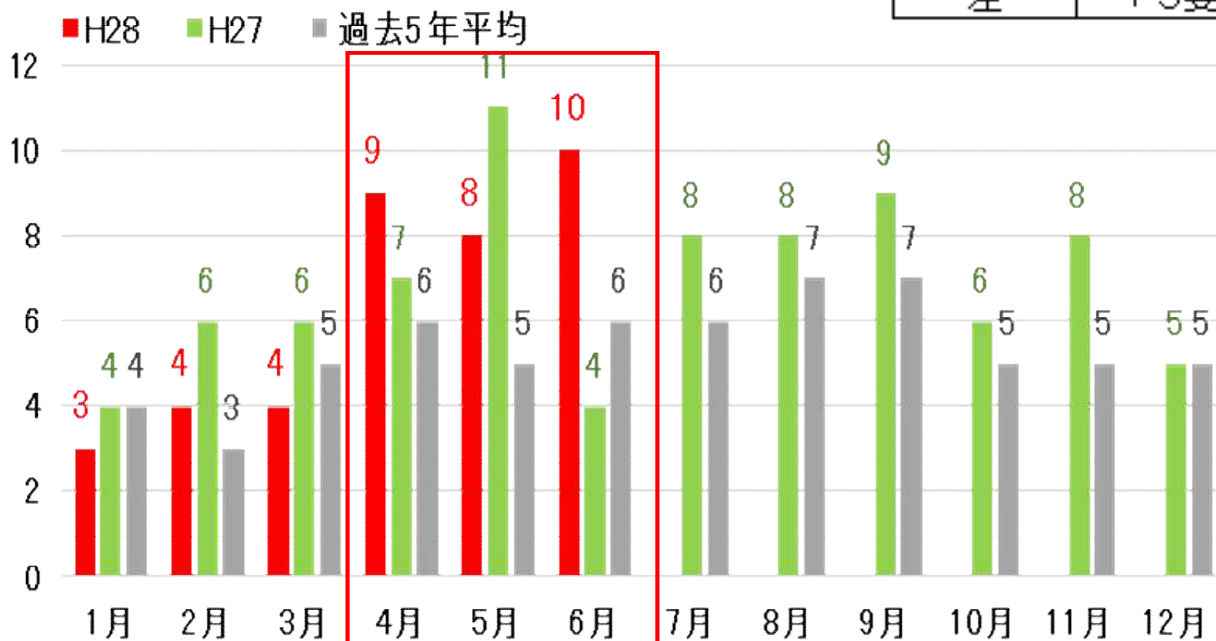
### 傾向及び特徴

- ・4月～6月の小型船舶事故は、27隻発生し、前年同時期比で5隻増、過去5年平均同時期比で10隻増となっており、増加傾向で推移している。
- ・特に漁船とプレジャーボートの発生割合が多く、小型船舶の約9割を占める。
- ・漁船の事故種類では、衝突の事故が6隻で最も多く発生している。
- ・プレジャーボートの事故は、運航障害が4隻発生で最も多く、次いで機関故障が3隻となっている。

## 4月～6月小型船舶事故内訳

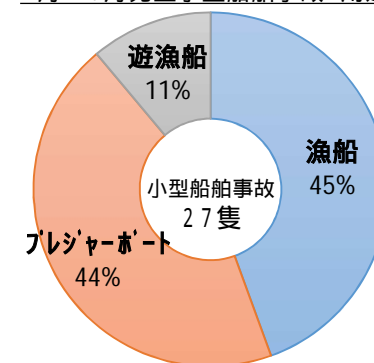
事故種類 用途	事故種類									
	衝突	乗揚	運航障害	機関故障	浸水	転覆	推進器障害	火災	その他	総計
漁船	6	3	1	1					1	12
プレジャーボート		1	4	3		1	1		2	12
遊漁船					2			1		3
総計	6	4	5	4	2	1	1	1	3	27

## 月別小型船舶事故隻数

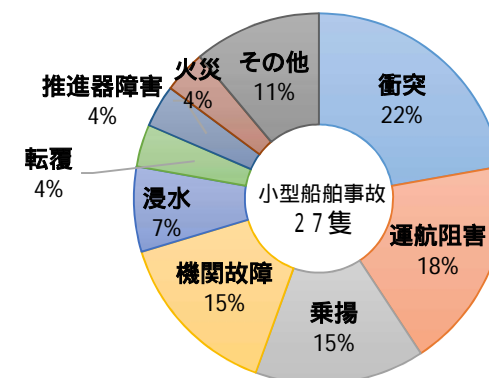


H28累計	27隻
H27累計	22隻
差	+5隻

4月～6月発生小型船舶事故 用途別



4月～6月発生小型船舶事故 事故種類別





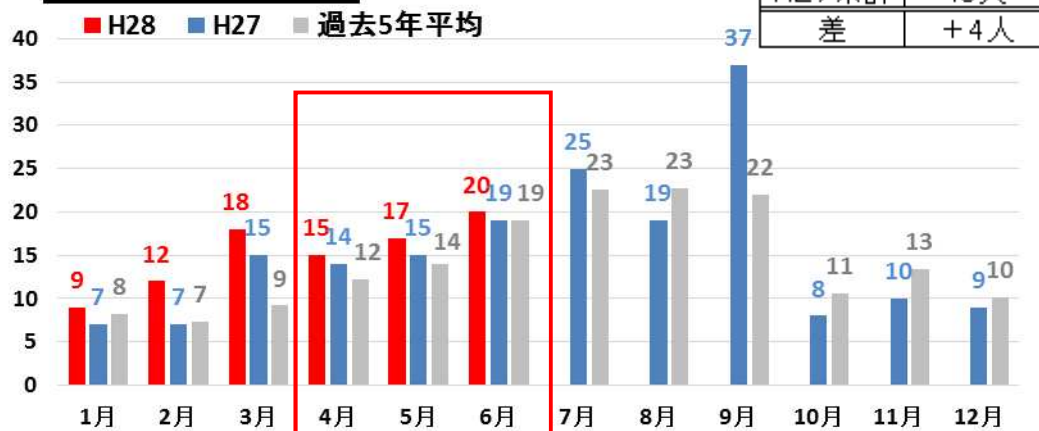
# 平成28年 沖縄の人身事故発生状況速報(4～6月)

平成28年7月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

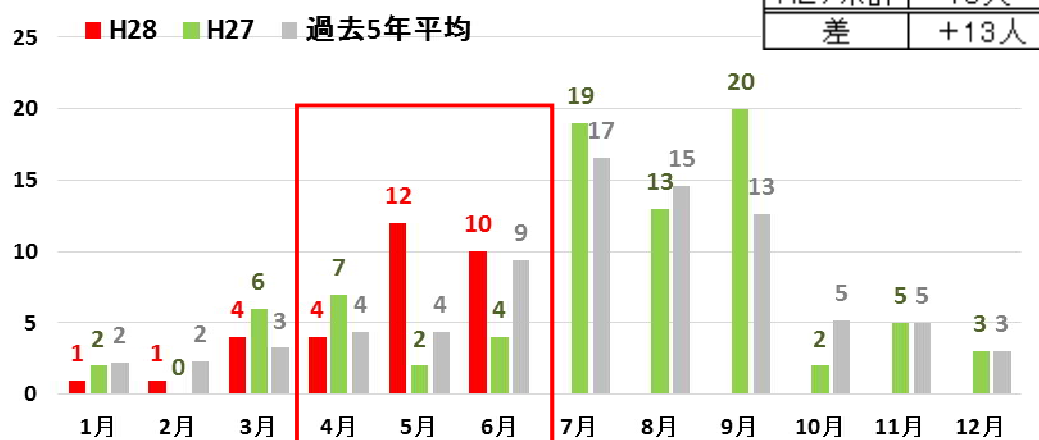
## 主なポイント

4月～6月の人身事故者数は52人で、前年同時期比で4人増加、過去5年平均同時期比で7人増加となった。事故内容別では、溺水及び負傷がともに13人で最も多く発生しており、これらで全体の約5割を占めている。マリレジャーに伴う人身事故者数は26人で、前年同時期比で13人増加、過去5年平均同時期比で9人増加となった。事故内容別では、溺水が9人で最も多く発生しており、次いで負傷が8人となっている。

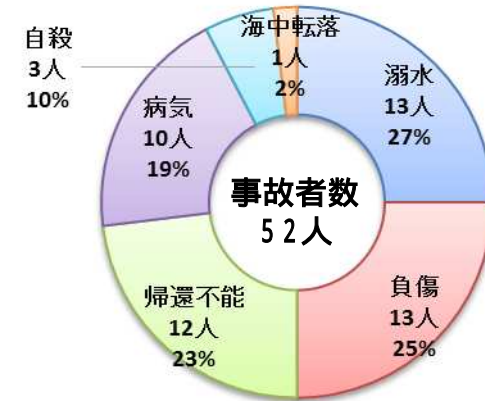
### 月別事故者数推移



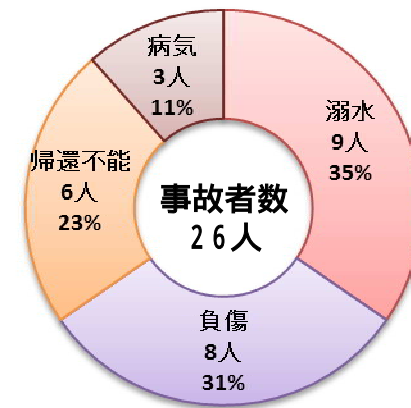
### 月別マリレ人身事故者数推移



### 4月～6月 人身事故全体



### 4月～6月 マリレジャーに伴う人身事故



平成28年7月～9月

---

---

概要

船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- ・船舶事故隻数 15隻 (詳細は右表のとおり)
- ・死者・行方不明者数 8名  
(外国籍貨物船と中国漁船の衝突によって、中国漁船の乗組員14名中8名が行方不明となった。)

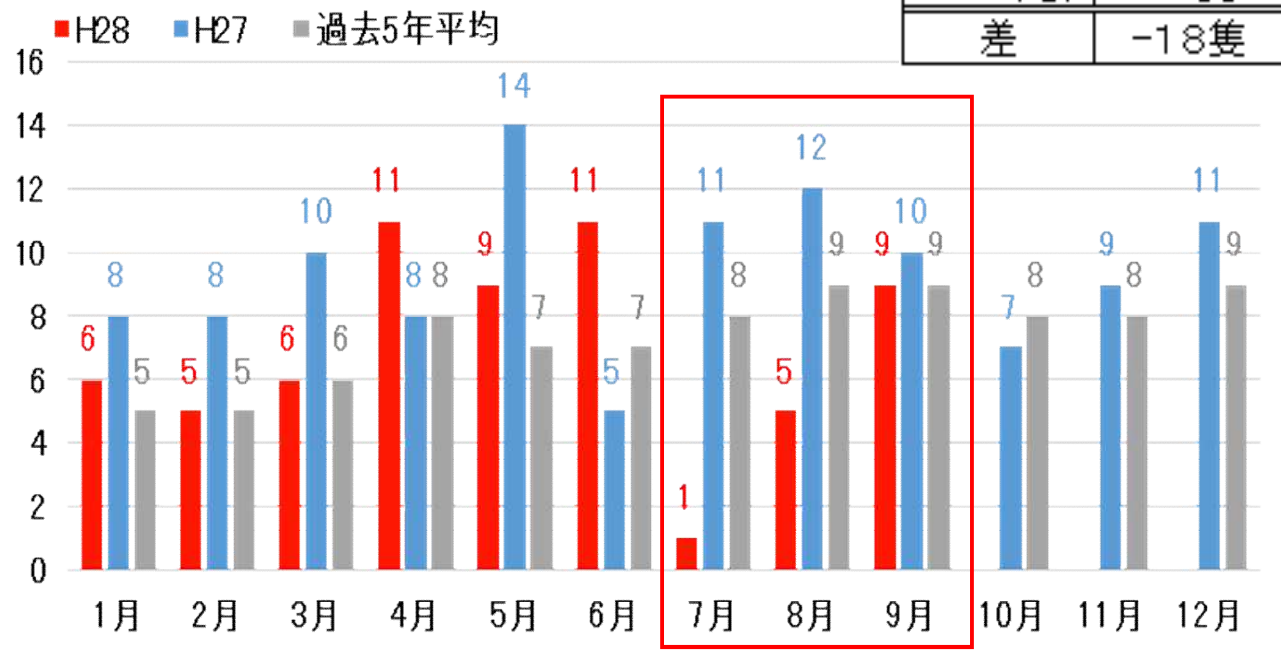
傾向及び特徴

- ・7月～9月の船舶事故は15隻発生し、前年同時期比で18隻減、過去5年平均同時期比で11隻減となっており、大幅な減少となった。
- ・用途別では漁船が5隻で最も多く発生し、ついでプレジャーボートの4隻となっております。
- ・事故種類別では衝突が全体の4割で最も多く発生している。

7月～9月船舶事故内訳

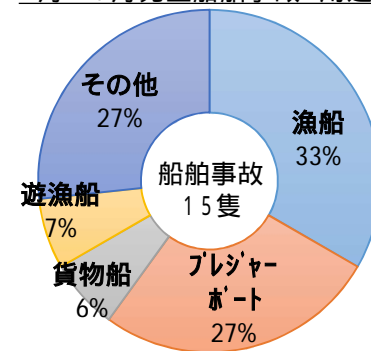
用途 \ 事故種類	衝突	乗揚	機関故障	安全阻害	転覆	推進器障害	運航阻害	総計
漁船	2	1	1				1	5
プレジャーボート			1	1	1	1		4
貨物船	1							1
遊漁船	1							1
その他	2	1		1				4
総計	6	2	2	2	1	1	1	15

月別事故隻数推移

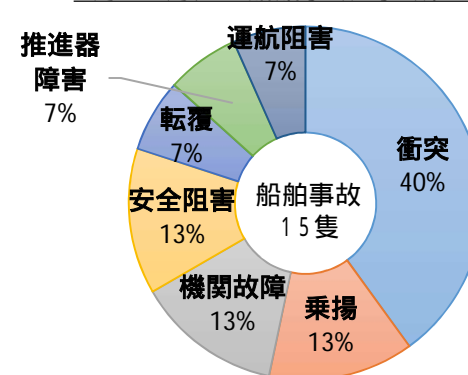


H28累計	15隻
H27累計	33隻
差	-18隻

7月～9月発生船舶事故 用途別



7月～9月発生船舶事故 事故種類別



# 平成28年 沖縄の小型船舶事故発生状況速報(7~9月)

平成28年10月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

## 概要

### 小型船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- ・小型船舶事故隻数 10隻(漁船5隻、プレジャーボート4隻、遊漁船1隻)
- ・死者・行方不明者数 8名  
(外国籍貨物船と中国漁船の衝突によって、中国漁船の乗組員14名中8名が行方不明となった。)

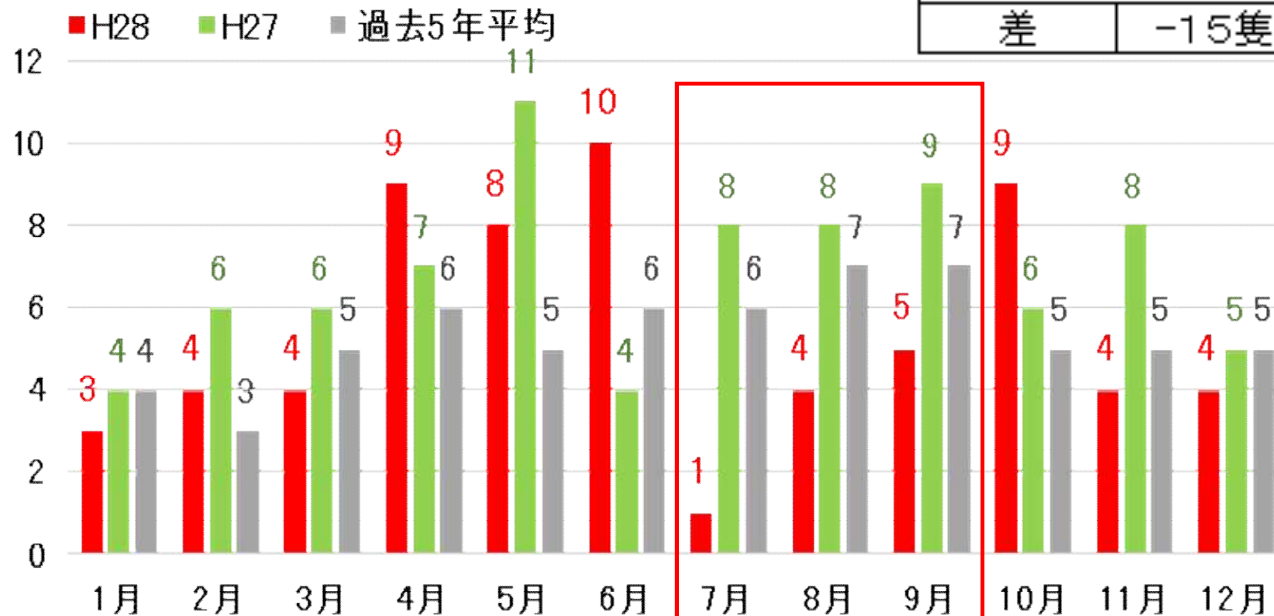
### 傾向及び特徴

- ・7月~9月の小型船舶事故は、10隻発生し、前年同時期比で15隻減、過去5年平均同時期比で10隻減となっており、大幅に減少した。
- ・例年この時期に多く発生している台風の影響による浸水の事故が発生していない。

## 7月~9月小型船舶事故内訳

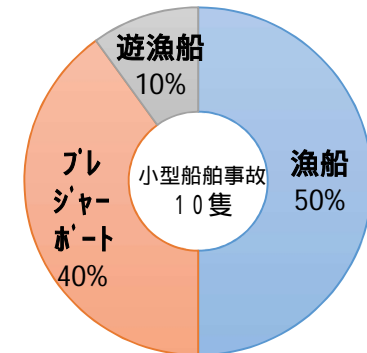
事故種類 用途	事故種類							総計
	衝突	機関故障	乗揚	安全障害	転覆	推進器障害	運航障害	
漁船	2	1	1				1	5
プレジャーボート		1		1	1	1		4
遊漁船	1							1
総計	3	2	1	1	1	1	1	10

## 月別小型船舶事故隻数

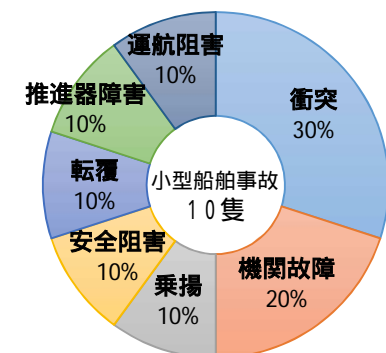


H28累計	10隻
H27累計	25隻
差	-15隻

7月~9月発生小型船舶事故 用途別



7月~9月発生小型船舶事故 事故種類別



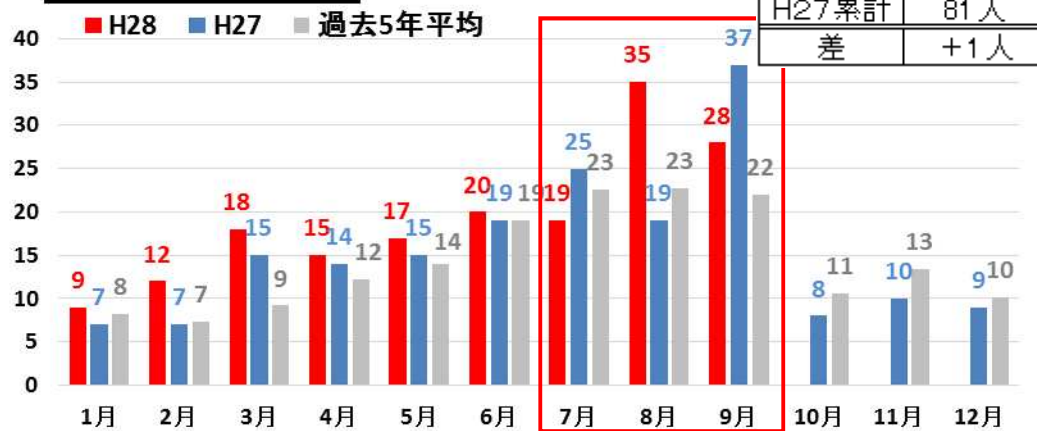
# 平成28年 沖縄の人身事故発生状況速報(7~9月)

平成28年10月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

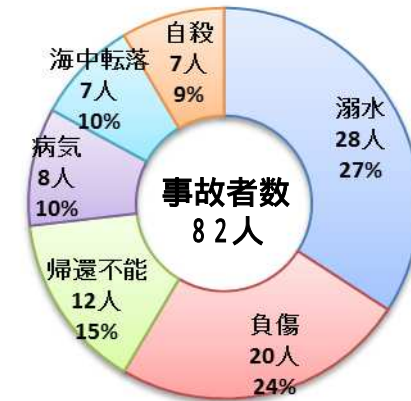
## 主なポイント

7月~9月の人身事故者数は82人で、前年同時期比で1人増加、過去5年平均同時期比で14人増加となった。事故内容別では、溺水が28人で最も多く発生しており、次いで負傷が20人となっている。マリンレジャーに伴う人身事故者数は52人で、前年同時期と同数、過去5年平均同時期比で7人増加となった。事故内容別では、溺水が24人で最も多く発生しており、全体の約5割を占めている。

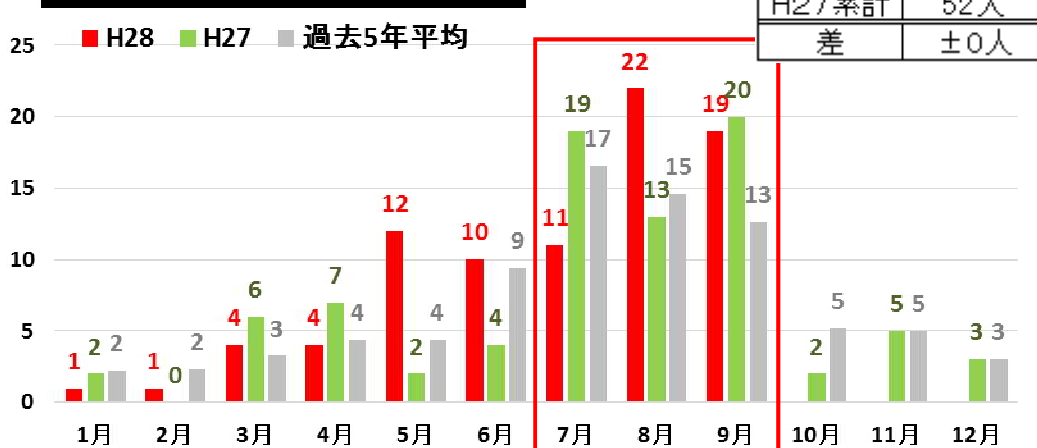
### 月別事故者数推移



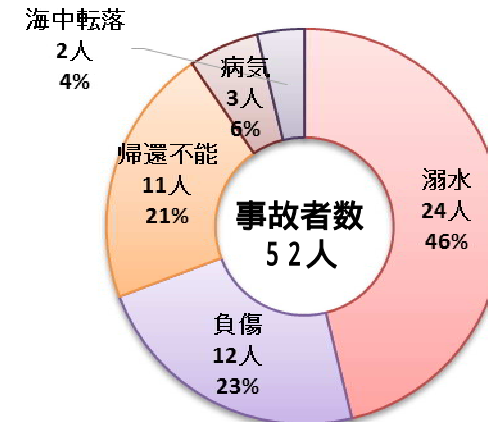
### 7月~9月 人身事故全体



### 月別マリンレジャー人身事故者数推移



### 7月~9月 マリンレジャーに伴う人身事故



平成28年10月～12月

---

---

概要

船舶事故隻数及び死者・行方不明者数  
 ・船舶事故隻数 19隻 (詳細は右表のとおり)  
 ・死者・行方不明者数 0名

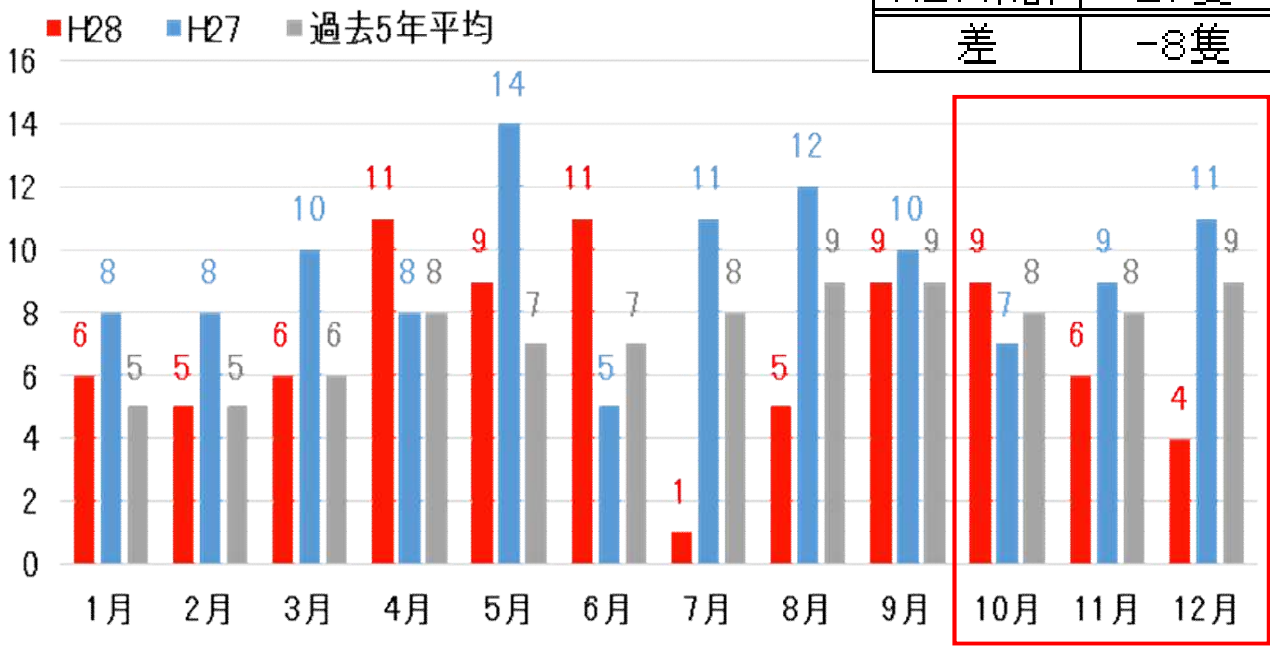
傾向及び特徴

・10月~12月の船舶事故は19隻発生し、前年同時期比で8隻減、過去5年平均同時期比で6隻減となっており、減少傾向で推移した。  
 ・用途別ではプレジャーボートが10隻で最も多く発生し、ついで漁船の6隻となっております。  
 ・事故種類別では衝突と浸水がともに5隻ずつで最も多く発生しており、これらの事故で全体の約5割を占めている。

10月~12月船舶事故内訳

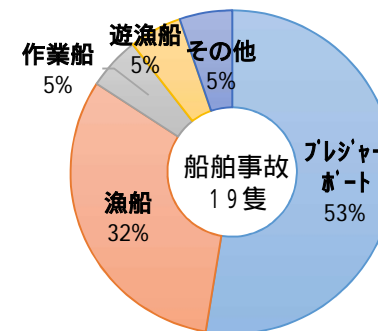
用途 \ 事故種類	乗揚	浸水	転覆	機関故障	安全阻害	運航阻害	その他	総計
プレジャーボート	2	1	1	1	2	1	2	10
漁船	3	3						6
作業船		1						1
遊漁船			1					1
その他				1				1
総計	5	5	2	2	2	1	2	19

月別事故隻数推移

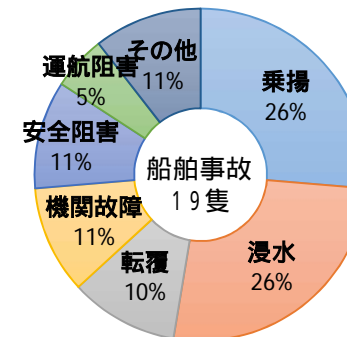


H28累計	19隻
H27累計	27隻
差	-8隻

10月~12月発生船舶事故 用途別



10月~12月発生船舶事故 事故種類別





# 平成28年 沖縄の小型船舶事故発生状況速報(10～12月)

平成 28 年 1 月  
第十一管区海上保安本部交通安全対策課

## 概要

小型船舶事故隻数及び死者・行方不明者数

- ・小型船舶事故隻数 17隻(プレジャーボート10隻、漁船6隻、遊漁船1隻)
- ・死者・行方不明者数 0名

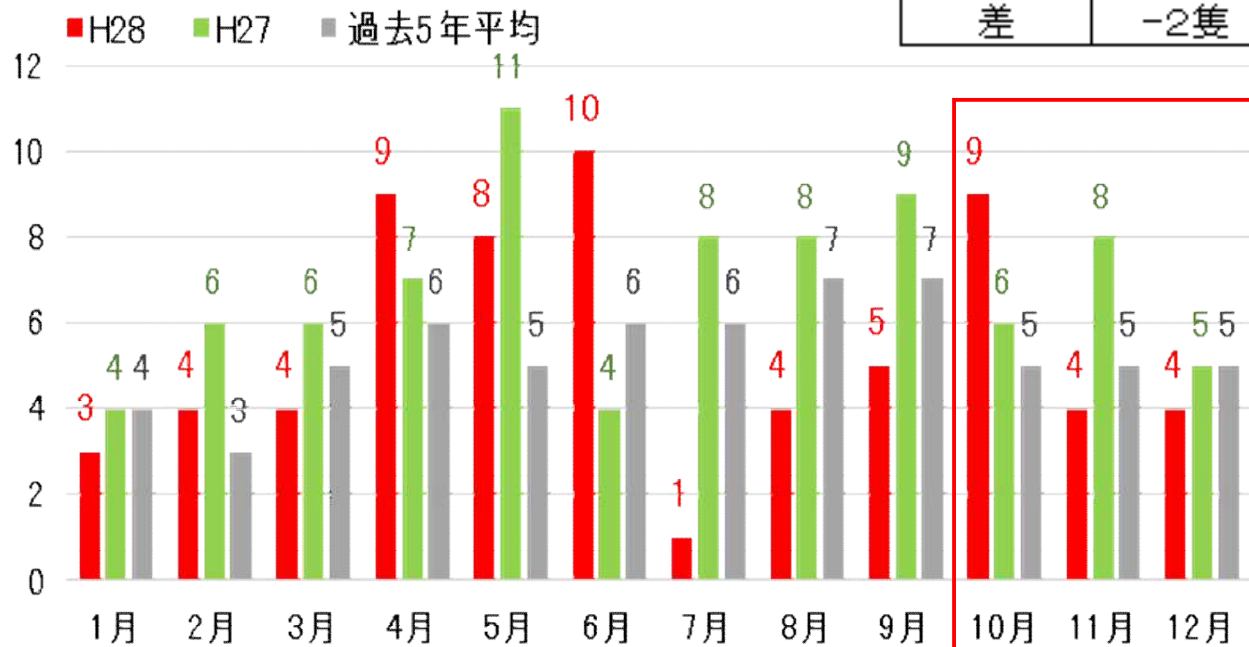
傾向及び特徴

- ・10月～12月の小型船舶事故は、17隻発生し、前年同時期比で2隻減、過去5年平均同時期比で2隻増となっており、ほぼ横ばい状態で推移した。
- ・また、平成28年の1月から12月の累計では、65隻の事故が発生し、前年同時期比で17隻減、過去5年平均同時期比で1隻減となっており、過去5年間で最も事故が多かった平成27年から大幅に減少した。

## 10月～12月小型船舶事故内訳

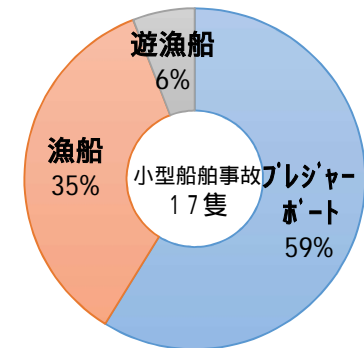
事故種類 用途	事故種類							総計
	乗揚	浸水	転覆	機関故障	安全障害	運航障害	その他	
プレジャーボート	2	1	1	1	2	1	2	10
漁船	3	3						6
遊漁船			1					1
総計	5	4	2	1	2	1	2	17

## 月別小型船舶事故隻数

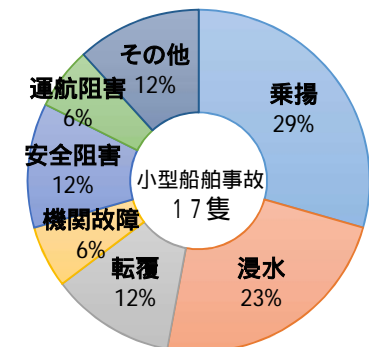


H28累計	17隻
H27累計	19隻
差	-2隻

10月～12月発生小型船舶事故 用途別



10月～12月発生小型船舶事故 事故種類別



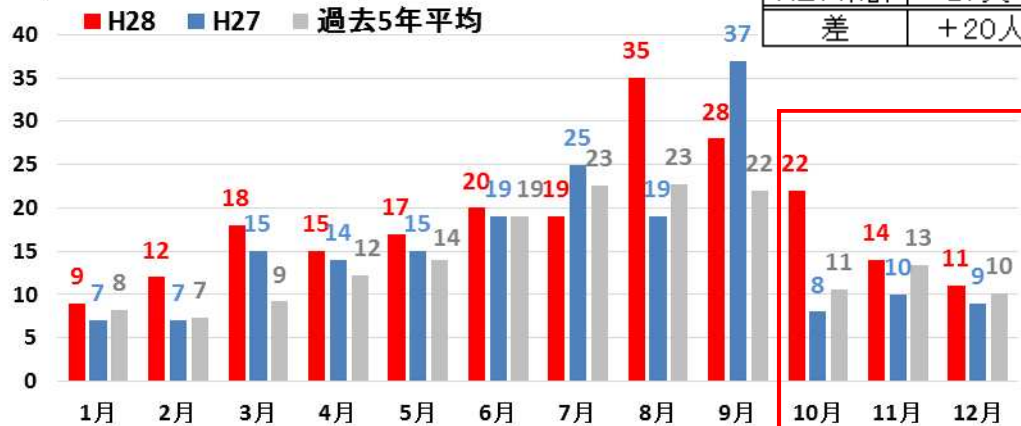


## 主なポイント

10月~12月の人身事故者数は47人で、前年同時期比で20人増加、過去5年平均同時期比で13人増加となった。事故内容別では、溺水(11人)、病気及び負傷(10人)、帰還不能(9人)の順で多く発生している。

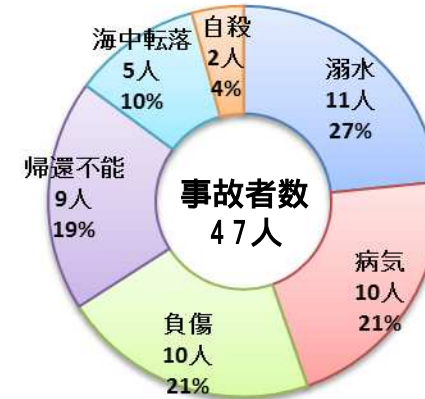
マリレジャーに伴う人身事故者数は27人で、前年同時期比で17人増加、過去5年平均同時期比で14人増加となった。事故内容別では、溺水(9人)、帰還不能(8人)、負傷(5人)の順で多く発生している。

### 月別事故者数推移

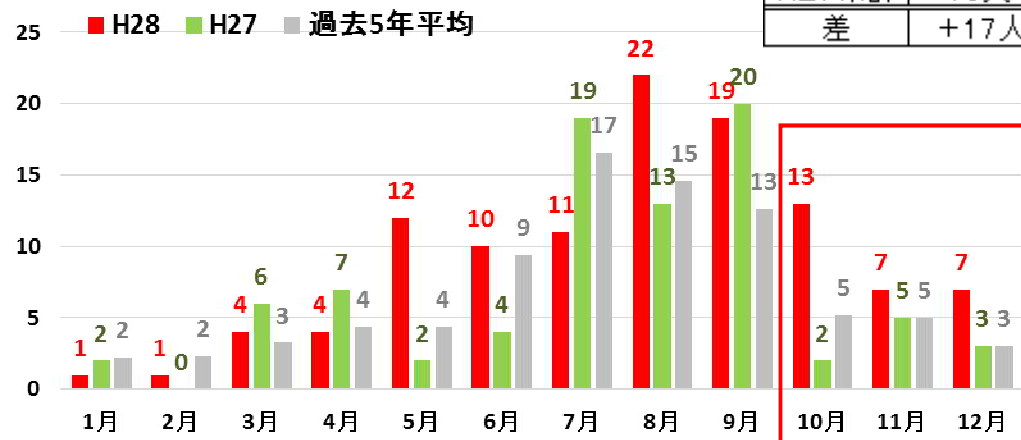


H28累計	47人
H27累計	27人
差	+20人

### 10月~12月 人身事故全体



### 月別マリレ人身事故者数推移



H28累計	27人
H27累計	10人
差	+17人

### 10月~12月 マリレジャーに伴う人身事故

